
日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース 1 化学物質等の規制，管理の内外の動向に関する知識

講義時間	項目番号	項目
2 時間	1-1	<化学物質のリスク管理に関する日本の法制の概要等> <ul style="list-style-type: none">・法・社会法等・労働安全衛生関係法令(有害物規制を中心に)・労働契約法と安全配慮義務・産業活動に伴う国民や一般環境へのリスク
2 時間	1-2	<世界の安全衛生の動きの理解> <ul style="list-style-type: none">・英国労働健康安全法制定の経緯(ローベンス報告)・EU 安全衛生枠組指令とリスクアセスメント <EUの安全衛生及び環境> <ul style="list-style-type: none">・その他の EU 指令・RoHS 指令・REACH 規則の成り立ちと概要 <米国安全衛生法>
2 時間	1-3	<ILOの動き> <ul style="list-style-type: none">・ILO 条約・OSHMS・ILO コントロール・バンディング <国連及び国連機関の環境・安全の動き> <ul style="list-style-type: none">・アジェンダ 21・国連 GHS 文書・IPCS と ICSC、EHC、CICAD

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

—カリキュラム—

コース 2 労働環境における化学物質のリスク評価・リスクとばく露管理

講義時間	項目番号	項目
2時間	2-3	<リスク評価と手順, 方法> ・リスクの評価・リスクの管理の手法および手順 ・厚生労働省の化学物質のリスクアセスメント指針の理解 ・簡易推定法および推定法と適用の注意事項等 [演習] <リスク管理の方法の優先順位> ・リスク管理の方法の優先順位 ・事例研究
6時間	2-1	<ばく露評価と管理> ・作業環境測定(A・B、C・D測定) ・作業環境測定のリスク判定、リスク管理への応用 ・個人ばく露測定 ・個人ばく露測定と作業環境測定の違い
2時間	2-4	<ばく露評価と管理> ・生物学的(バイオロジカル)モニタリング [演習](例) ・バイオロジカルモニタリングの意義と実施上の留意点
2時間	2-2	<ばく露評価と管理> ・気中ばく露濃度推定モデル, ボックスモデル 等

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース ③ 労働環境における化学物質のハザード評価

講義時間	項目番号	項目
3 時間	3-5	<p><ハザード情報とその区分></p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険有害性概論 ・GHS とハザードクラス(化学物質の健康有害性に加え危険性の説明も含む), カテゴリー ・SDS ・ハザード情報の収集, ハザード情報源, データベース
5 時間	3-4	<p><化学物質等の人体のばく露限界値等の設定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・量－影響関係 ・量－反応関係 ・閾値 ・NOAEL ・LOAEL ・不確実係数 ・ばく露限界値の設定 ・許容濃度(職業的ばく露限界値 OEL), 日本産業衛生学会値 等 ・ACGIH-TLV(TWA, CV, STEL) [課題] (例) ・量－影響関係・量－反応関係の説明 ・ばく露限界値(OEL)とその設定方法 ・毒性試験の意義と種別 等
3 時間	3-1	<p><毒性物質の体内動態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学物質の生体内動態, 分布, 代謝, 排泄(肝臓, 腎臓の医学, 機能, 生理学の説明を含む) ・毒性の発現機序 等
2 時間	3-2	<p><発がん物質></p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学発がん(発がんの機序, 発がん性分類, 職業性がん)
2 時間	3-3	<p><化学物質の毒性の検出方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毒性試験とその種別 ・構造－活性相関 等
3 時間	3-6	<p><化学物質等による毒性総論></p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学物質等による毒性総論(標的臓器, 健康影響, 職業性疾病) ・標的臓器の医学, 機能と生理学(粉じんの健康影響に関連して気管と肺, 脳・神経毒性に関連して脳・神経系統, 皮膚の構造と皮膚吸収) 等

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース 4 物理的有害因子のリスク管理

講義 時間	項目 番号	項 目
3 時間	4-1	<非電離放射線のリスク管理> ・電磁場と影響及びリスク管理 ・紫外放射と影響及びリスク管理 ・可視光 ・レーザー光と影響及びリスク管理 ・眼の医学・解剖学
3 時間	4-2	<電離放射線のリスク管理> ・電離放射線と影響及びリスク管理 ・非確定的影響と確率的影響 ・放射線防護 ・被ばく防止対策
2 時間	4-3	<振動のリスク管理> ・振動を伴う作業環境と影響及びリスク管理
2 時間	4-4	<温熱のリスク管理> ・温熱作業条件と影響及びリスク管理
2 時間	4-5	<気圧のリスク管理> ・異常気圧下作業と影響及びリスク管理
2 時間	4-6	<騒音, 超音波のリスク管理> ・騒音下作業と影響及びリスク管理, 超音波と影響及びリスク管理, 聴覚器官の医学・解剖学を含む

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース 5 労働環境における生物的有害因子のリスク管理

講義時間	項目番号	項目
3時間	5-1	<p><生物的因子の有害性発生機序></p> <ul style="list-style-type: none">・微生物・細菌・ウイルス・真菌・原虫・プリオン 等 <p><生物的因子のリスク評価の実際></p> <ul style="list-style-type: none">・室内空気汚染物質としての生物的因子の定義・微生物エアロゾルによる室内空気汚染・浮遊微生物の補修方法・浮遊微生物による健康影響・生物的因子のリスク評価 <p><生物的因子のリスク削減、リスク管理およびリスクコミュニケーション></p> <ul style="list-style-type: none">・生物的因子のリスク削減と感染症発生リスク要因の評価・感染症成立の3要因とリスク削減 等 <p><生物的因子にかかる緊急リスクへの対応></p> <ul style="list-style-type: none">・感染症が発生した場合・特定の感染症に対する対策

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース **6** 一般環境のハザード・リスク評価及びリスク管理

講義時間	項目番号	項目
3時間	6-1	<環境科学概論> ・環境汚染物質 ・環境リスクと安全 ・大気汚染 ・水質汚濁 ・土壌汚染 ・地球環境問題 ・環境倫理
2時間	6-2	<環境保健概論> ・環境汚染物質の人への影響・代謝 ・毒性試験 ・生体濃縮 ・発がん物質 ・環境保健問題の事例 等

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース ⑦ 労働衛生工学概論

講義時間	項目番号	項目
6時間	7-1	<有害化学物質等の発散抑制のための工学的対策と管理> ・工学的対策の概要 ・工法, 工程の改良 ・発散抑制設備等とその原理及び設計(密閉設備, 局所排気装置, プッシュプル型換気装置, 全体換気装置等) 等
2時間	7-2	<排ガス・粉じん・廃液の処理技術 > ・各種除じん装置 ・排ガス処理装置 ・廃液処理法 等
2時間	7-3	<労働衛生保護具> ・種類, 構造, 機能, 管理, 使用, 取扱い上の留意点 ・防護係数 ・フィットテスト ・皮膚の保護具 ・目、顔面、聴覚保護具 等

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース ⑧ 工学的対策の基礎（作業環境，一般環境）

講義 時間	項目 番号	項 目
5 時 間	8-1	<化学工学の基礎> <流体力学の基礎> <粉体工学の基礎>

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース 9 労働と人間工学

講義時間	項目番号	項目
2時間	9-1	<p><健康管理概論></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理の意義と目的 ・標的臓器 ・正常値 ・許容値 ・一般および特殊健康診断の目的 ・健康診断の事後措置 ・過重労働等に係る面接指導等 ・健康管理に関する情報の管理 ・健康管理手帳制度 ・企業外労働衛生機関 等
1時間	9-2	<p><労働衛生教育概論></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場における労働衛生教育 ・労働衛生教育の目標 ・労働衛生教育の実際 等
1時間	9-3	<p><職業性疾病と作業関連疾患></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業性疾病 ・有害要因別の職業的健康障害 ・作業関連疾病 ・特定の労働者の健康管理(シックハウス, 化学物質過敏症等) ・産業保健 等
2時間	9-4	<p><産業精神保健概論></p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健対策のあゆみ ・精神障害者の医療 ・地域精神保健福祉対策 ・精神障害者と社会復帰 ・心の健康づくり ・メンタルヘルス 等
4時間	9-5	<p><労働と人間工学></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間工学とは ・作業方法 ・作業姿勢 ・作業負担の改善 ・上肢作業 ・交替制勤務(深夜業務) ・照明 ・VDT 作業 ・職業性腰痛 等

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

—カリキュラム—

コース 10 公衆衛生学

講義 時間	項目 番号	項 目
3 時 間	10-1	<p><衛生統計学概論></p> <ul style="list-style-type: none">・人口静態統計・人口動態統計・生命表・健康状態と受療状況 <p><食品保健および栄養概論></p> <ul style="list-style-type: none">・食品衛生法と食中毒・食品安全基本法と食品安全・食品表示・栄養と日本人の食事摂取基準 等 <p><衛生行政概論></p> <ul style="list-style-type: none">・衛生行政の沿革・衛生行政の組織・保健所 等

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース **11** 疫学的アプローチの基礎

講義 時間	項目 番号	項 目
3時 間	11-1	<疫学調査> ・疫学調査の目的, 動機, 位置付け ・疫学調査法の分類 ・疫学調査の実施例 等

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース 12 リスクコミュニケーション

講義 時間	項目 番号	項 目
1.5 時間	12-1	<残留リスク, リスクコミュニケーション> ・リスク削減 ・残留リスク管理
2.5 時間	12-2	<残留リスク, リスクコミュニケーション> ・リスクコミュニケーション(GHS ハザードコミュニケーションは除く) ・危機管理
